

# 行政改革研究会 電算システムの共同処理検討部会 報告書

平成31年 3月25日

## 1 はじめに

電算システムの共同処理の手法である「自治体クラウド」とは、地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする取組で、複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図るものである。

この自治体クラウドの導入については、平成29年度の行政改革研究会地方公共団体相互間の協力部会の研究結果として、「効率的な行財政運営を行う上で高い効果が認められる」と整理された。

一方、導入に当たっての課題として、「団体間における検討や調整の場がない」ことが挙げられ、この課題を解決するため、本検討部会が設置されたものである。

## 2 検討部会の目標

本検討部会では、平成30年度の活動の目標を次のとおり設定した。

### 【電算システムの共同処理検討部会の目標】

検討部会を構成する市町村が、平成30年度中に、次のいずれかの方法により、自治体クラウドの導入を検討するためのグループに属すること。

- ①既存の自治体クラウドグループに加入（検討のための仮の加入を含む）する。
- ②複数の市町村において、自治体クラウドの導入を検討するためのグループを組成する。

## 3 検討及び調整

上記の目標達成に向け、群馬県内の3つの既存グループとの意見交換や、地方公共団体情報システム機構自治体クラウド支援アドバイザーの助言を得ながら検討を重ね、構成市町村におけるグループを整理した。

（検討部会の開催状況）

回	開催日	主な議題
1	平30. 6. 26	自治体クラウド導入に向けた現状把握と課題整理、部会の方針の決定
2	平30. 8. 30	既存の自治体クラウドグループへの加入の検討
3	平30. 11. 8	自治体クラウドの導入を検討するためのグループの組成の検討
4	平31. 1. 10	総括、行政改革研究会への報告事項の整理

（グループの調整結果）

構成市町村（14市町村）	グループ
太田市、館林市、藤岡市、安中市、みどり市	（新グループ）
渋川市、吉岡町	（新グループ）
富岡市、上野村、神流町、南牧村	（新グループ）
川場村、昭和村、玉村町	前橋市・高崎市・伊勢崎市グループへの加入

## 4 今後に向けて

本検討部会は、自治体クラウドの導入に向けた取組の足がかりとなるよう、まずは検討するためのグループを整理することを主眼に活動を進めてきたものである。

今後は、県や国などの支援を活用しながら、それぞれのグループでより具体的な検討を進めていくことにしたい。また、構成市町村のみならず、群馬県全体に自治体クラウド導入に向けた取組が波及・拡大していくことを期待したい。